



認可施設にステップアップへ 大きな一歩の踏み出し

平成14年10月1日より、「知的障害者通所授産施設」となり、施設長を含めて職員数9名、利用者(仲間)定員25名の認可施設となりました。

また、同日より新たに、上都賀郡の粟野町在住の仲間が1人入所し、11月1日より、さらに同町在住の仲間が3人増え、現在は利用者23名となり、楽しい毎日を過ごしています。

そして、同月にはもう1台のバスを購入し、その送迎バスで通っています。

国の認可施設となり何が 変わったのか？

従来は行政からの「補助金」と「理事長」の個人資産の投入で運営していました。

ですが、認可施設になって、利用者1人当たりに対して一定の費用が「措置費」として事業者を支払われます。

「措置費」とは何か？

これは、行政が下す「行政処分」の意味で、あくまで行政が主体で福祉に係る措置を行うことです。でも現実には利用者の意向を優先している面もあります。

そしてこの「措置費」に変わる新制度が「支援費」であり、平成15年4月より開始されます。

わらしべの「認可」になるに当たり 何を行ったのか？

従来の建物では認可基準を満たしておらず、認可基準を満たすため大幅な改装工事を行いました(→関連記事、3頁右側上段)。

また、この地域は上下水道が整備されておらず、認可後人も増え、また給食サービスも行うため、大量の水が使用されると考えられます(→関連記事、3頁右側中央)。

そのため地域周辺への環境にも配慮し、浄化水槽等厨房とトイレの水に対する完全な環境対策工事を行いました。



お餅つき。12月13日やりました。

わらしべの里の理事会構成

社会福祉法人としてのわらしべの里の運営の基本を決めるのは理事会です。その理事には次の方々にご就位頂いております。今後ともよろしくお願いたします。

- 理事長 金坂義江(会社役員)
- 理事 (理事長職務代理)
渡邊全一(学識経験者)
- 常務理事 金坂直仁(わらしべの家
施設長)
- 理事 保坂義広(自治会副会長)
- 理事 関口延二(栃木市の
民生・児童委員)
- 理事 田澤幸子(社会福祉法人
こぶし作業所施設長)
- 理事 野尻幹雄(わらしべの里
親の会会長)
- 理事 本島一男(社団法人栃木
県公共嘱託登記
土地家屋調査士
調査栃木支所理
事支所長)
- 監事 菊地達美(社会福祉法人
那須共育学園施設長)
- 監事 内海靖浩(内海会計
事務所所長)



これが11月に導入した新送迎用車両バス(キャラバン)です。毎朝と夕方は粟野町まで送迎を行っています。これで、わらしべの送迎車両は3台になり、それらの車で自分で通えない仲間達を、職員の運転で毎朝と夕方の2回送迎をやっています。



今年の10月1日の昼食の時、それまでホールと



私はチツプです。

して使っていた部屋に6人が座れるように並んだテーブルが5カ所できました。上にはきれいなビニールクロスがかかっています。

わらしべの里で22年間続いたお弁当持参から施設で作った給食へ変わった日なのです。この日のメニューは親子どんぶりにお汁付きでした。お替りもOK。「これ本当にタダなの、お金、払わなくていいの…」と心配そう。

認可施設になった、目に見える大きな変化でした。他にトイレも腰掛け・洗浄式が2箇所になりました。「下からシャワーが出る…」と利用者の中で好評です。

「ここまで来て今の日本の障害者福祉の施設サービスのレベルに達したのだ」と心から嬉しく感じました。粟野町から4人の方が通所してくれています。これも大きなできごとです。片道2時間、朝・夕を合わせて150分・4時間の送迎も職員の努力で続けています。『社会福祉』の社会的責任の大きさ、重さを改めて実感しています。

次の課題は「グループホーム」を創ること、これは利用者の保護者の方々にも積極的にかかわって頂き、近い将来に具体化をしていきたいものです。(金

わらしべの家 活動報告

「わらしべの家」の仕事

現在の業務内容は、主に各企業からの下請け作業が中心です。主力業務はお線香作業、ボールペンの組立て作業、ダンボールにシールを貼る作業の3種類の業務を行っています。順番に紹介していくと、まず、最初にお線香業務は、栃木市の有名なお線香業者様から、お線香を持ってきて頂き、お線香の重さを計ったり、お線香の箱詰めや袋詰め作業などを行っています。



お線香の作業中です。

次にボールペンの作業は、あるボールペン業者様から1日に3千本～5千本のボールペン組立て作業を頂き行っています。



ボールペンの作業中です。

そして最後に、今年から新たにダンボールにシールを貼る仕事を頂き行っています。

仕事の作業分担は各仲間達に合わせ、それぞれのグループに分かれ作業を行っています。

忙しいながらも楽しく元気に働いています。

僕の願いと夢

わらしべの里の仲間 N. W

僕は、今、送迎用のバスで毎日わらしべに通っていますが、僕の願いは1人で、わらしべまで、電動車イスで通えたらいいなと思っています。今の状態では道が狭いので1人で通うことができません。地域の道も広がって車イスでも安心してどこにでも行けるようになると思います。僕1人でも外に出てみたいです。

僕の生活は、日常的には、親が介護をしてくれています。僕は親が倒れたら、僕の介護は誰がやってくれるのか、心の中でいつも心配しています。親も自然に高齢化へと進みます。

今の日本の現状では「親が倒れれば入所施設へ行く」のが当たり前になっています。でも僕は、親が倒れても入所施設へ行きたくありません。この栃木の街で健常者と同じような生活を送りたいです。お友達やボランティアの人のお世話になって生活が成り立つといいなと思います。誘ってくれる友達がほしいです。

今度、機会があったら、2・3日、自立生活をしてみたいです。そこで、何ができて、何ができないかを体験してみたいです。もし、できない事があれば、今後の課題とする。そして、1週間延ばす。こういうチャレンジをやってみたいです。

家にいればなんでも親がやってくれるけれど、あまえてばかりいてはいけないと思います。自立生活ができればいいと思います。

僕はパソコンが大好きです。施設長のはからいで去年1月から1年間はホームページデザインの通信講座を受けさせて頂きました。これを仕事に生かせたらいいなあと願っています。パソコン室も新しくなり、今では、わらしべ通信を作ったり、パソコンの勉強もしています。これからもっといろいろな仕事ができるいいなと思います。

将来はパソコンで働いたお金で生活が送れるといいなと思います。これが僕の夢です。

「わらしべの家」の活動—BGMも心の安らぎ

昨年度までは、午前、午後とも休憩時間が10分間でしたが、今年度から5分延長され、15分間の休憩になりました。仲間達からは休憩時間が伸びて「うれしい」、とか「遊べる」という反響があります。

また、今までは静かな雰囲気の仕事をしていましたが、今年度から、音楽を聴きながら作業を取り入れてやることとなりました。

特に、最新のポップス曲や、懐かしのメロディー、最新のヒット曲などを流し、仲間達からは「たのしい」とか、「作業がやりやすくなった」という喜びの声があります。



昼食後は、仲間それぞれに曲を決めて歌を歌っている。

そして昼休みには、仲間達が大勢になりましたので、午後の1時までには終わるように4つのグループに分かれ、順番に通信カラオケで歌を歌って、楽しい昼休みを過ごしています。

また、月間行事の一つとして、金曜日の午後はレクリエーションがあります。毎月の最後の金曜日は、「仲間の会」を開きます。雨の時は室内でできるものや、晴れの時は外へ散歩に出掛けたり、近くの公園で遊ぶなど1カ月の計画を全員で決めています。

でも仕事が忙しい時は仕事を最優先に行い、終了後にレクリエーションをやりま。遊ぶ時は遊びをする、仕事の時は仕事を行うというようにはじめめる、職場創りを目指しています。



上の写真はレクリエーションの時間で、近くの公園でゆっくりと過ごしていました。



新職員とわらしべ改築工事

今秋より給食サービスを開始

新しい職員の配置

平成13年10月より「社会福祉法人」という法人格を取得し、早いもので1年が経ちました。

更に職員体制も大幅に変更され、1月に1名、4月に2名、6月に1名の職員が入替わり、また10月より「知的障害者授産施設」の認可を受けたのに合わせ指導員1名、栄養士1名、調理員1名が増員されました。

その結果、施設長含め職員9名の体制となり、気持ちも新たにわらしべの里は再出発しました。

新職員紹介

施設長	金坂 直仁
事務員兼指導員	橋本 充友
指導員兼事務員	森戸 快枝
指導員	松浦 雅彦
指導員	荒川 淳
指導員	岸野 則子
指導員	早川 芳江
栄養士	矢野 直子
調理員	川又 希枝子



・新体制となり気持ちも新たにし、わらしべの仲間と地域の皆様とともに職員一同努力して参りたいと思いますので、今後ともご支援ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

職員一同

思い出アルバム



左の写真は、農家をされている仲間の畑でじゃがいもほりを行いました。仲間達は初挑戦でも皆楽しく過ごしました。

右の写真は夏に富士産業のお祭りの中庭にて恒例のお好み焼き屋さんを行いました。こんなにお客さんが来てくれました。



左の写真は、ぶどう園へ行き、ぶどう狩りをしました。仲間達から「こんなにとれたよ!!」と喜びの声。



建物の増改築工事を実施

わらしべの里の建物を造ってから23年目に入り、5月の連休明けから、トイレを増設したり、玄関から作業室へ行く廊下を従来幅より20cm拡張したり、調理室、食堂、相談室、休憩室、医務室、パソコン室を3か月にわたって増改築工事を行いました。



その結果、仲間達からは「広くなった」とか、「よくなった」という嬉しい声がありました。

給食は今年の秋から開始

以前までは、親達の手作りのお弁当を食べていましたが、今年の10月から給食サービスが開始され、親が作ってくれた愛情のこもっているお弁当が食べられなくなり、仲間達からは「寂しい」という声もあります。けれども、栄養士さんと、調理員さんの2人が心をこめて作ってくれる毎日の給食。栄養のバランスを計算して35食分が作られ、味もとってもおいしいということで、皆大喜びです。

また、仲間達からは「皆と同じ物が食べられる」、とか「おかわりは自由」ということで給食を楽しみにしています。

以前までは、「わらしべホール」と呼んでいましたが、10月から「食堂」と名前を変更しています。



今日の昼食はなにかね。おいそうに食べています。

まとめ

今年は、職員の入れ替えや、建物の大幅なリニューアルもあり大変な忙しさでしたが、心機一転、「新わらしべの里」の今後の躍進を成し遂げたいと思います。



4月以降は新しい職員の配置もあって、作業室の雰囲気が変わりました。また5月は増改築工事などの日々がありましたが、利用者は元気に仕事や、レクリエーションをして楽しく過ごしています。(範)



今年の親子旅行は群馬県の水戸温泉へ行き、夕食は宴会。総勢47名プラス、犬のチップさん。



左写真と同じ親子旅行の2日目、沼田市の農園のリング狩りに行き、記念写真。

社会福祉法人わらしべの里

貸借対照表 2002(平成14)年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,245,278	流動負債	1,152,689
現金預金	1,099,828	未払金	534,817
未収金	145,450	預り金	617,872
固定資産	32,567,872	固定負債	1,552,680
基本財産	24,600,554	長期運営資金借入金	1,000,000
建物	20,683,354	退職給与引当金	552,680
土地	3,917,200	負債の部合計	2,705,369
その他の固定資産	7,967,318	純財産の部	
構築物	2,522,875	基本金	9,417,200
車両運搬具	2,116,575	基本金	9,417,200
器具及び備品	1,934,388	国庫補助金等特別積立金	17,395,501
その他の固定資産	1,393,480	国庫補助金等特別積立金	17,395,501
		次期繰越活動収支差額	4,295,080
		次期繰越活動収支差額	4,295,080
		(うち当期経営活動収支差額)	957,942
		純財産合計	31,107,781
資産の部合計	33,813,150	負債及び純財産の部合計	33,813,150

わらしべの家

収支予算書 2002(平成14)年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
授産事業支出	527,603	授産事業収入	1,257,797
請負事業支出	502,445	請負事業収入	1,089,314
陶芸さをり事業支出	25,158	陶芸さをり事業収入	168,483
人件費支出	5,215,411	運営費収入	5,463,953
役員報酬	16,640	運営費収入	5,463,953
職員棒給	2,683,500	寄附金収入	665,877
職員諸手当	626,000	寄附金収入	665,877
非常勤職員給与	1,097,600	雑収入	13,010
退職共済掛金	47,700	雑収入	13,010
法定福利費	743,971	受取利息配当金収入	53
事務費支出	2,094,899	受取利息配当金収入	53
旅費交通費	52,622	施設整備等補助金収入	2,300,000
消耗品費	57,592	施設整備等補助金収入	2,300,000
器具什器費	16,254	借入金収入	600,000
印刷製本費	185,844	長期運営資金借入金収入	600,000
水道光熱水費	44,277		
燃料費	12,663		
修繕費	300,000		
通信運搬費	133,011		
業務委託費	664,137		
手数料	63,285		
損害保険料	234,165		
賃借料	261,601		
雑費	69,448		
事業費支出	514,195		
保健衛生費	23,920		
教養娯楽費	52,519		
日用品費	17,642		
水道光熱水費	294,450		
燃料費	82,887		
消耗品費	6,349		
器具什器費	19,740		
賃借料	3,000		
雑費	13,688		
経理区分間繰入金支出	1,000		
経理区分間繰入金支出	1,000		
固定資産取得支出	2,300,000		
車両運搬具取得支出	2,300,000		
小計	10,653,108		
当期繰越金	▲352,418		
合計	10,300,690	合計	10,300,690

この予算に関する資料は公的資金を頂いている福祉団体として「情報公開の原則」から発表しているものです。平成14年の3月末の決算ですから、認可施設になる前

法人本部会計

収支予算書 2002(平成14)年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	50,000	寄付金収入	1,000,000
役員報酬	50,000	寄付金収入	1,000,000
事務費支出	837,000	受取利息配当金収入	3
賃借料	837,000	受取利息配当金収入	3
小計	887,000		
当期繰越金	113,003		
合計	1,000,003	合計	1,000,003

デイケア - 希望

収支予算書 2002(平成14)年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	2,349,101	経理区分間繰入金収入	1,000
役員報酬	9,000	経理区分間繰入金収入	1,000
職員棒給	1,678,800	運営費収入	4,823,500
職員諸手当	375,760	運営費収入	4,823,500
非常勤職員給与	35,000	受取利息配当金収入	35
退職共済掛金	71,280	受取利息配当金収入	35
法定福利費	179,261	借入金収入	400,000
事務費支出	1,964,207	長期運営資金借入金収入	400,000
福利厚生費	828		
旅費交通費	18,488		
消耗品費	19,031		
印刷製本費	10,500		
水道光熱水費	7,788		
修繕費	800,076		
通信運搬費	57,197		
広報費	163,800		
業務委託費	452,914		
手数料	6,840		
損害保険料	158,503		
賃借料	214,267		
租税公課	2,000		
雑費	51,975		
事業費支出	877,088		
保健衛生費	2,755		
教養娯楽費	15,836		
日用品費	7,134		
水道光熱水費	72,669		
燃料費	98,757		
消耗品費	8,659		
賃借料	665,400		
雑費	5,878		
小計	5,190,396		
当期繰越金	34,139		
合計	5,224,535	合計	5,224,535

社会福祉法人わらしべの里

社会福祉法人『わらしべの里通信』

第2号(通巻16号)

発行元 社会福祉法人わらしべの里

〒328-0011

栃木市大宮町 2708-3

発行責任者 金坂直仁

編集『パン工房』

電話 0282-27-1627

FAX 0282-27-1675

e-mail warasi-nk@cc9.ne.jp

http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/